

## いじめをしない・させない学校

### 教師のアクション

#### ○子どもが主役となる魅力的な教育実践の推進

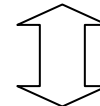
- ①「いじめを絶対に許さない」「一人ひとりを大切にする」人権意識を育てる。
- ②魅力ある授業づくりに努め、「自己存在感」「共感的人間関係」「自己決定力」を育む協同的な学びを築く。
- ③児童会、学級活動、学校行事の中で支持的な人間関係を育む。

#### ○子どものささいなサインに気づく学級経営を行う

- ①朝の健康観察で学級全員の様子をつかむ。
- ②学校目標・生活目標・学級目標、予定表等、教室にきちんと掲示する。
- ③学級日誌をしっかりと記録させ、教師が毎日、目を通す。
- ④丁寧な言葉づかいで子どもに接する。
- ⑤休み時間、給食の時間、掃除の時間等の児童の人間関係を把握し、出来る限り全員に声かけをする。
- ⑥朝、下校後、教室の整理整頓をする。(持ち物・らくがき等、小さな変化に気づく)

#### ○保護者・地域・関係機関との連携を密にする

- ①対応策を全職員が共通理解し、問題行動発生時には、即時、生徒指導部に連絡・相談する。
- ②日常より保護者との信頼関係を築き、連絡・家庭訪問を惜しまない。
- ③生徒指導部を窓口とし、関係機関・地域の協力を得て対応する。



### 児童のアクション

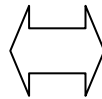
#### ○明るく楽しい学校の主役となる

- ①児童会による、朝のあいさつ運動
- ②高学年をリーダーとした、たてわり活動
- ③ハッピー週間（人権週間）における学級の取り組み

### 家庭・地域のアクション

#### ○子どもが大切にされる家庭・地域づくり

- ①日常の情報交換を密にした学校との連携
- ②あいさつ運動、登下校の見守り運動
- ③気軽に相談できる保護者同士の信頼関係
- ④地域行事を通して人間関係づくり



### いじめ発生時の対応

- |                                |                                |
|--------------------------------|--------------------------------|
| ①いじめの疑い・訴え・発見                  | ⑥保護者への報告（被害者、加害者）              |
| ②いじめ対策委員会の設置                   | ⑦傍観者への指導                       |
| ③正確な情報把握<br>(被害・加害・周囲・教師・保護者等) | ⑧学級・学年・全校への指導                  |
| ④関係機関への連絡・連携                   | ⑨P T A, 地域の協力を得る<br>(再防止の取り組み) |
| ⑤被害者の支援、加害者の指導                 | ⑩その後の継続的な見守り・指導                |